

長野工場 CSRレポート

事業内容: 油圧ホース金具、自動車用ホース金具、セルフシールカップリング組み立て
敷地面積: 28,169m²
従業員数: 209人 (2011年12月現在)
所在地: 長野県下伊那郡高森町吉田548

相談・苦情などの受付窓口:
 TEL: 0265-35-3211 FAX: 0265-35-68846



工場長ご挨拶



前沢 昇

南アルプスと中央アルプスに囲まれた自然豊かな長野県高森町に1961年に設立された横浜ゴム(株)唯一の金属製品加工工場です。多軸自動盤、NC旋盤をはじめとする工作機械を備え、油圧ホース金具、自動車用ホース金具、セルフシールカップリング組み立てを主力生産品目とし、国内外の系列工場への供給と、全国のお客さまへ製品供給させていただいております。長野県の豊かな自然と融合した事業所運営を目指し、当社の「環境GD100」で掲げている「トップレベルの環境貢献企業」の達成に向け、金属製品加工に伴う切削屑の完全リサイクル化、工法改善による切粉屑の削減および産業廃棄物の削減活動に取り組んでいます。今年度下期には金属屑を「ブリケット化」する設備の導入を予定しており、産業廃棄物総量の50%削減が

見込めます。省エネ活動として従業員一丸となり工場、家庭での身近な省エネ活動を推進するほか、工場内設備の省電力タイプの導入、更新を行い地球温暖化防止への取り組みを活発に行っています。また「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクト活動も、今年度既に第5期を計画し、さらなる杜の拡大を図るとともに、地域コミュニケーションとしても地域への「杜」の活動拡大を推進していきたいと計画しております。毎年開催される地域を流れる天竜川河川清掃(環境ピクニック)には参加をしています。また、「中高校生の職場体験学習」を体験する中から、当社の環境保全活動の取り組みを理解いただく機会を設けています。地域コミュニケーション活動をさらに充実させていきます。地域の皆さまと共に従業員や従業員家族が一丸となってトップレベルの環境貢献企業を目指していく所存です。

環境経営の推進

環境方針

横浜ゴム株式会社は「トップレベルの環境貢献企業」を目指す

- (1) 長野工場は、生産から廃棄に至るあらゆる段階で環境負荷低減に取り組めます。
- (2) 信頼され続ける工場として、環境汚染の予防を図り環境改善を継続的に推進します。
- (3) 地球温暖化対応、省エネルギー、廃棄物の低減に取り組めます。
- (4) 当工場に関連する法規制及び協定等を順守し環境保全に取り組めます。
- (5) 当工場の環境目的・目標を設定し、それに連鎖した各課の目的・目標を達成する為、計画的に実行し、年1回見直しを実施します。
- (6) 工場の中従業員及び構成員が本環境方針を理解し行動する様、教育と啓蒙を行ない周知徹底します。
- (7) 地域とのコミュニケーションを大切に、地域に貢献する活動を進めます。
- (8) 本方針は、一般の人からの要求に応じ公表します。

環境リスク対応

35人が参加した「油流出対応訓練」を2011年6月15日、17日、20日の3日間実施しました。



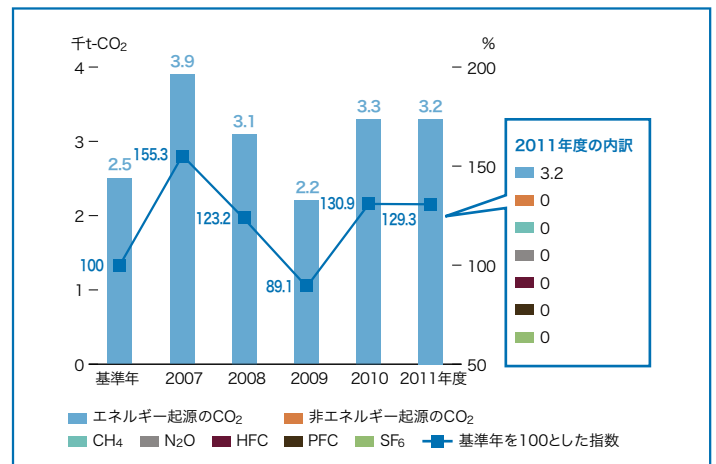
環境教育を2011年6月14日、21日、30日の3日間実施し、合計198人が参加しました。



環境データ

■温室効果ガス排出量の削減

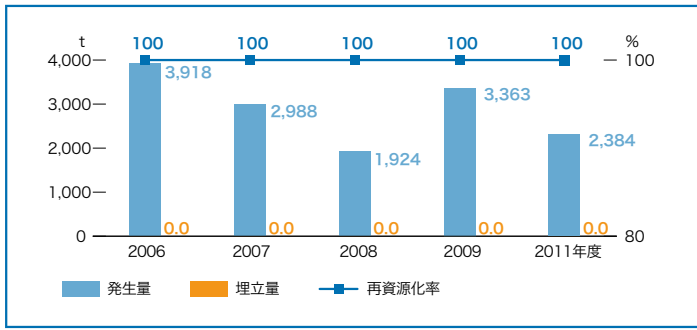
総温室効果ガス排出量と基準年を100とした指数



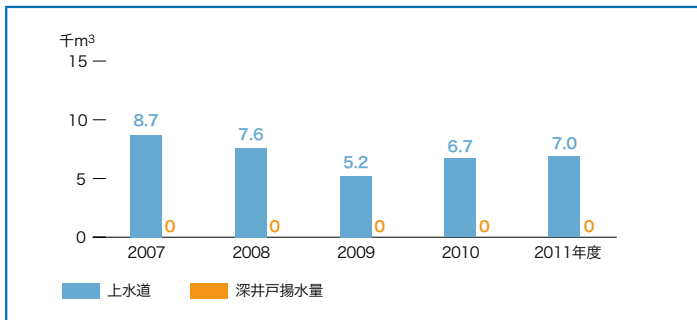
※基準年: 1990年を原則としていますが、京都議定書に準じてHFC、PFC、SF₆は1995年としています。
 ※温室効果ガス(GHG)の算定方法: 環境省・経済産業省発行の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」に準拠しています。
 なお、2009年度の電力購入からのGHG算定は、環境大臣公表の契約電力会社別実排出係数を使用しています。
 ※2011年度は決算期が4-12月となりましたので、2011年1-3月データを重複させて1-12月で集計しています。

■資源の有効活用／廃棄物の削減

・廃棄物データ



・水使用量



■水・大気・土壌への排出対策

・水質汚濁にかかわるデータ

項目	規制値	自主管理値	2011年度実績		
			平均値	最大値	最小値
PH	5.8~8.6	—	6.5	7.1	5.9
BOD濃度 (mg/l)	160	22	13	18	8.7
COD濃度 (mg/l)	160	25	10	10	9.8
SS濃度 (mg/l)	200	—	—	—	—
油分濃度 (mg/l)	5	—	—	—	—

※法規制対象外(自主管理測定、2回以上/年)
 ※規制値は長野県条例
 ※2011年度実績値は2011年1月~2011年12月。

従業員の教育・訓練

防災訓練を2011年12月19・21・22・26日に実施し、合計211人が参加しました。



消費者とのコミュニケーション

工場見学の受け入れ

職業安定協会が主催する工場見学会を開催し、地元高校生50人を受け入れ、企業活動を説明しました。

この他に近隣の知的障がい者施設の子どもさん25人、範囲圏域障害者総合センターの25人、新潟県立専門学校の46人の皆さまを工場見学へ受入

れて、企業活動を説明しました。

また、QCサークル伊那ブロックから25人の方々を受け入れ、工場見学の後、改善事例報告、サークル活動について論議しました。この他、サークル活動を学んでもらうために地元企業の工場見学会を4回行いました。



高校2年生



知的障がい者施設の子どもさん



障がい者総合センター



新潟専門学校の皆さま



サークル活動受入

人権・労働慣行

障がい者の短期トレーニングの受入

飯田公共職業安定所および飯伊圏域障害者総合支援センターの依頼を受けて、障がい者1人の短期トレーニング（職場実習）を受入れました。さらに、地元高校から2人の現場実習生を受入れ、将来の工場の担い手を育成しました。



地元高校生現場実習

ステークホルダーコミュニケーション

苦情等の情報はありません。

地域とのかかわり

家族ふれあい祭り

従業員と家族を対象に初めての取り組みとして「潮干狩りバスツアー」を企画し、楽しいひと時を過ごしました。今後も開催を希望する声が多く上がっています。



潮干狩り

清掃活動への参加

（財）長野県テクノ財団が主催する天竜川水系の清掃活動「天竜川環境ピクニック」に、従業員34人が参加しました。



ピクニック

「愛の献血」に協力

「愛の献血」に従業員42人が協力しました。



愛の献血

地域のスポーツ大会への参加

「労福協ソフトバレーボール大会」へ10人の従業員が参加しました。



ソフトバレーボール大会



ステークホルダーコミュニケーション

ボランティア活動に参加

地域の産業祭りには知的障がい者施設の子ども達と一緒に販売の手伝いをしました。

近隣の知的障がい者施設の子ども達による手作り野菜や小物の物販を開催しました。どれも大変な好評ですぐに売り切れました。



豊丘まつり

年末街頭募金に協力しました。



年末街頭募金

地域ぐるみ環境の取り組みに参加

全国グリーンウエーブに参加。また、「昼も夜も節電ライトダウン2011」を実施。同時に「さわやか信州省エネ大作戦」に取り組みました。3年継続してエコキャップ回収も進めました。

地域自治会組織会合への参加

地域の自治会組織にあたる「隣組」の会合に年2回参加しました。



コーポレートガバナンスとコンプライアンス

コンプライアンス教育の実施

職制を対象としたコンプライアンス教育を実施しました。